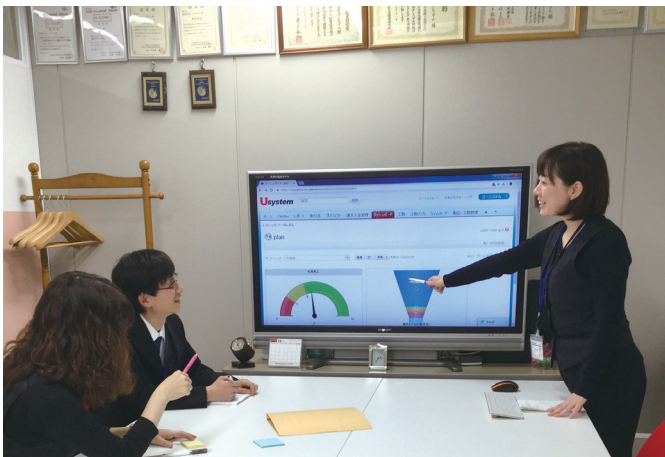




「新3K産業」からICT活用で残業ゼロを目指す

三つの改革で組織改善を

株式会社ユーシステムの代表取締役、佐伯里香氏は三つの大きな改革を打ち立てた。



第一に「業務の見える化」。どういう業務にどれだけの時間をかけたか、個人・グループ別の状況がリアルタイムで分かるようにした。また、在宅勤務もいち早く推進。クラウド上でプロジェクトを管理するようにして、在宅勤務可能な環境を整えると同時に、社内SNSをはじめとするICTツールを活用。zoomは常時繋ぎっぱなしにし、職場・在宅の社員同士が常にコミュニケーションを取れる環境にした。さらに、遠隔操作ができるカメラ付ロボットを導入。在宅社員は、ロボットを介して自由に職場社員に話しかけられる。職場と在宅の垣根を感じさせない環境を作り出した。

また、業務管理と勤怠システムを融合。出勤時にその日のタスクを入力し、退勤時に進捗を入力。未入力の場合は退社処理ができない仕組みだ。これにより、定期的な報告書の提出などは不要となった。

第二に社内制度改革に着手。フレックスタイムや半日休暇、傷病積立休暇といった就業制度を次々に整えていった。在宅勤務が可能な環境は整っていたので、傷病や家の都合などの場合には臨機応変に在宅勤務

をすることができ、効率的な時間の使い方を実現している。

第三に組織改善を実施した。公益財団法人「日本生産性本部」のマネジメント強化プログラムの紹介を受け、「実効力ある経営」の評価制度を導入した。10のアクションプランごとに従業員のリーダーを任命。Webからの集客強化や、顧客対応のスピード化で受注効率を上げるため、より具体的な実施基準を定めた課題解決に取り組んでいる。

ICT活用で女性の離職を防ぐ

同社はシステム受託開発、Web制作、クラウドサービス等のICT活用支援等の業務を手掛け、社長をはじめとする社員の半数が女性であった。知名度に劣る中小企業は、新卒採用をすることが難しく、中途採用に頼らざるを得なかった。しかし、人間の労働力に頼る割合が大きく「労働集約型」的な要素が強い情報産業は、一般に新3K(きつい、帰れない、給料が安い)の職場と言われることも多く、同社も企業成長に伴い長時間残業が常態化。せっかく苦勞して採用し、育成した社員の離職を招いてしまった。

女性には結婚、出産の壁がある。現状では彼女たちの壁を取り払うことができていない。そこで、今後の継続成長のためにも女性にとって働きやすい職場にするために、ICT活用を軸にした業務改革に取り組むこととなった。

「労働集約型」からの転換、「技術集約型」へ

革新的な取組が評価され、「女性が輝く先進企業表彰」内閣府特命担当大臣賞を受賞した。受賞を機にメディアへの露出も増え、昨年の採用面接での応募者数は100人を超えた。今も、週に10人ほどから応募がある。

ICTを活用した業務改革の好影響は、雇用の面だけでなく業績にも及んでいる。仕事の見える化を通じ、確認のための会議が削減されたことで、1人当たり216時間の時短に。加えて資料探しの時間がなくなることで、1人あたり110時間時短することができた。その結果残業量も減り、空いた時間で業務をさらに進めることができ、生産性を高めることに成功。

また、一連の改革の中での取組を、サービス商品化することにも成功し、大企業からも引き合いがくるようになった。社内改善を端緒とした



取組は、同社のビジネスモデルをシステムの受託開発という労働集約型から、クラウドを活用した高付加価値を提供する「技術集約型」への転換を促そうとしている。「今後はICTを使

いこなした会社が伸びていく。ICTによる業務改革で、クライアントの成長をサポートできる」ことを確信している。

企業情報

【業種】情報産業 【資本金】1,000万円 【従業員】20名
【所在地】兵庫県神戸市中央区御幸通4丁目2-15 三宮米本ビル4F
【HP】 <https://usystem.jp/company/>

●事業概要

システム受託開発会社、企業のWEB制作や技術者派遣、WEBコンテンツ制作

●各種アワード 内閣府「女性が輝く先進企業表彰」内閣府特命担当大臣賞、健康経営優良法人2020、経済産業省認定スマートSMEサポーター、神戸市「こうべ男女いきいき事業所」表彰、兵庫県「ひょうご優良経営賞 兵庫県知事賞」受賞

